

ハイリスク薬管理ガイドライン

第1版 東京都病院薬剤師会薬務薬制部

2015.3.31

使用方法

- 都病薬ホームページよりハイリスクガイドライン（A4 1ページ）リスクチェック一覧表（A4 60ページ）をダウンロードして使用する。
- ハイリスクが疑われる薬剤についてリスクチェック一覧表でチェックし必要に応じて添付文書を調べる。
- 薬剤の投与・中止に関しては、患者の病状や危険性に配慮し、医師、看護師、薬剤師らと協議して検討する。

注意事項

- 本ガイドラインはあくまでも参考であり、施設ごとに改変して使用することを前提としているため使用責任は使用者または施設にある。
- リスクチェックリストには抗ガン剤、血液製剤、麻薬など本来ハイリスクな医薬品、及び掲載に該当しない（添付文書に警告・禁忌・重大な副作用等の記載が無い）医薬品は掲載していない。
- 本ガイドラインリスクチェック一覧表の掲載項目は、商品名、警告・禁忌・重大な副作用の有無、日本病院薬剤師会ハイリスク薬分類項目の有無、備考である。警告禁忌の項目のアレルギーは除外し、重大な副作用のショックは掲載することとした。
- 日病薬ハイリスク分類項目の判断基準は以下の通り。
 - ① 投与量に注意する医薬品とは TDM 対象薬、用量上限があるものとする。
 - ② 休薬期間、服薬期間の設定されている品目で、「長期連用は避ける」の表現は反映させない。また、手術前中止については備考欄に掲載する。
 - ③ 併用禁忌または相互作用で掲載するのは、併用禁忌があるか5薬効群以上と相互作用がある場合とする。
 - ④ 特定の疾病や妊婦への投与禁は禁忌項目のある場合のみとする。また、「授乳婦禁」「授乳を避けさせるなど注意すること」の表現は反映させない。
 - ⑤ 副作用回避のための検査には効果を確認するためのモニタリングは含まない。
 - ⑥ 「心停止等」はショック、重篤な不整脈（Tdp など）を含むと解釈する。
 - ⑦ 備考には注意事項を記載し、必要に応じて*を付す。

リスクチェック一覧表 掲載順序

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 抗菌薬 | 31. 胃腸機能調整薬 |
| 2. 抗ウイルス薬抗ウイルス療法薬 | 32. 消化性潰瘍治療薬 |
| 3. 抗真菌薬 | 33. 腸疾患治療薬 |
| 4. 免疫抑制薬 | 34. 痔疾患治療薬 |
| 5. 副腎皮質ステロイド | 35. 下剤 |
| 6. 非ステロイド抗炎症薬、鎮痛解熱薬、総合感冒薬 | 36. 肝疾患治療薬 |
| 7. 抗リウマチ薬 (DMARDs) | 37. 胆道疾患治療薬 |
| 8. 抗アレルギー薬 | 38. 膝疾患治療薬 |
| 9. 糖尿病治療薬 | 39. 抗精神病薬、抗うつ薬、気分安定薬、精神刺激薬 |
| 10. 脂質異常症（高脂血症）治療薬 | 40. 抗不安薬、睡眠薬 |
| 11. 痛風・高尿酸血症治療薬 | 41. 抗てんかん薬 |
| 12. 女性ホルモン、子宮用薬 | 42. 偏頭痛治療薬 |
| 13. 男性ホルモン製剤 | 43. 制吐薬 |
| 14. 他のホルモン、代謝異常症治療薬 | 44. パーキンソン治療薬 |
| 15. 甲状腺疾患治療薬 | 45. 脳卒中治療薬、抗認知症薬 |
| 16. 骨・カルシウム代謝薬 | 46. 自律神経作用薬 その他 |
| 17. ビタミン製剤 | 47. 筋弛緩薬 |
| 18. 輸液・栄養製剤 | 48. 麻酔薬 |
| 19. 造血薬 | 49. 眼科用薬 |
| 20. 止血薬 | 50. 耳鼻咽喉科用薬 |
| 21. 抗血栓薬 | 51. 皮膚科用薬 |
| 22. 降圧薬 | 52. 腎・泌尿器系薬 |
| 23. 狭心症治療薬 | 53. 泌尿器・生殖器用薬 |
| 24. 抗不整脈薬 | 54. 歯科・口腔用薬 |
| 25. 心不全治療薬、昇圧薬 | 55. 中毒治療薬 |
| 26. 血管拡張薬 | 56. 漢方薬 |
| 27. 利尿薬 | 57. 造影剤 |
| 28. 気管支拡張薬、喘息治療薬 | |
| 29. 呼吸障害改善薬 | |
| 30. 鎮咳薬、去痰薬 | |